

# 第5回瀬戸内海クルーズ活性化検討会の開催概要

○「瀬戸内海クルーズ活性化検討会」は、瀬戸内海に質の高い中小型クルーズを呼び込むことにより、瀬戸内海をエーゲ海、カリブ海に並ぶクルーズの海を目指す「瀬戸内海クルーズ」のブランド力向上を図りつつ、瀬戸内海におけるクルーズの活性化を図ることを目的とし、平成28年に設置したものです。同検討会は、国・地方公共団体・船社等で構成されています。

○このたび、第5回瀬戸内海クルーズ活性化検討会を平成31年2月4日～5日に開催しました。第1部はクルーズに関する講演が行われるとともに、第2部はクルーズ船社等と地方公共団体の個別面談において、さらなるクルーズ船誘致に向けた具体的な意見交換が行われました。

## 開催概要

【開催日】平成31年2月4日（月） 14:00～15:30（第1部）

15:50～17:40（第2部）

平成31年2月5日（火） 9:00～11:40（第2部）

【場 所】ホテル広島ガーデンパレス

【主 催】中国地方整備局 港湾空港部・中国運輸局 観光部

【次 第】

〔第1部〕 講演会

（1）クルーズ事情等について

（2）シルバーシー・クルーズについて ～日本寄港～

（3）船舶代理店から見る小型客船クルーズ

〔第2部〕 個別面談

## 演題：クルーズ事情等について

（一財）みなと総合研究財団 クルーズ総合研究所 山本 三夫 所長

（講演要旨）

○世界のラグジュアリー市場の急成長や全世界におけるスーパーヨット（個人が所有する24m以上の客船）の隻数増加など、最高級の観光を求める傾向にある。

○クルーズ船の誘致に加え、みなとの振興や地元のおもてなし、観光資源の更なる磨き上げが必要。



## 演題：シルバーシー・クルーズについて ～日本寄港～

シルバーシー・クルーズ 糸川 雄介 日本・韓国支社長

（講演要旨）

○現在9隻のクルーズ船を所有しており、2020年以降更に5隻の新造船が就航予定。

○瀬戸内海は新たな寄港の可能性を秘めており、引き続き提案をお願いしたい。



## 演題：船舶代理店から見る小型客船クルーズ

ベン・ライン・エージェンシーズ・ジャパン 古野和夫 顧問

（講演要旨）

○カレドニアン・スカイの乗客は日本の歴史、文化、景観などに関心があるほか、比較的アクティブな観光も好む。

○船舶代理店は船社と共にクルーズを良くするためにニュートラルな立場で判断し提案する。関係者と共に作り上げてゆく喜びを感じながら仕事できれば理想的。



講演会（第1部）の様子



個別面談（第2部）の様子